

CDR ver.1 紹介、改訂方針の紹介

CDR ver.1 and its revision

雨宮健太・KEK 物構研

2016年10月31日に、KEK放射光CDR (Conceptual Design Report) ver.1を公開しました (<http://www2.kek.jp/imss/notice/2016/10/311900.html>)。CDR ver.1は、以下の9章から構成されています。

1. 次世代放射光施設の必要性
2. KEK放射光のコンセプト
3. 施設運営
4. サイエンスケース
5. 産業利用
6. 光源加速器
7. ビームライン技術
8. 測定技術
9. 建設予算,

本講演では、CDR ver.1の概要、および今後の改訂方針を紹介します。

このCDR ver.1は、9月上旬に暫定版を公開した後、9月11,12日の第1回KEK放射光ワークショップなどを通して、皆様からいただいた様々なご意見をもとに、加筆・修正を行ったものです。CDRの作成に際しては、PF User Association (PF-UA)のKEK放射光検討委員会をはじめ、多くの皆様に多大なご協力を頂きました。改めまして、ご尽力いただいた皆様に心より感謝いたします。

現在公開しているCDRは、現時点におけるKEK放射光の概念設計をまとめたものです。したがって、具体的な設計については、日本の放射光科学のグラウンドデザインに関する議論や、技術的な検討の進展などを踏まえて、適宜、更新していく予定です。現在、日本放射光学会に設置された特別委員会において、本CDRに対する科学的、技術的観点からの検討が行われています。また、KEK-PFのWebサイトでは、本CDRに対するコメント、および研究・実験の提案を募集し、様々なご意見・ご提案をいただきました。今後、KEK放射光計画をより優れた計画に仕上げていくために、日本放射光学会における検討結果や、皆様からのご意見・ご提案、および第2回KEK放射光ワークショップやPFシンポジウムにおける議論を活かして、計画の更なる検討とCDRの改訂を進めていきたいと考えています。改訂版では特に、KEK放射光の重要な特徴の一つである人材育成の章の新設や、新たな研究・実験の提案の追加を検討しています。皆様と共に、KEK放射光を必ずや実現させる所存ですので、計画をより練り上げるために今後ともご協力をよろしくお願いいたします。